

# 夢に向かって

長崎市立愛宕小学校

校長 中村 秀一郎

電話 826-6062

教育目標 あたたかく たくましい 心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

手を合わせ 引き締まる身 初日の出

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

いつまでが正月であるかは諸説があるかと思いますが、この通信を書いているのが 1 月 4 日。「正月三が日」が終わり、令和 4 年に向けての仕事始めです。今年一年が皆様にとって、子供たちにとって素晴らしい一年になることをお祈りいたします。

年末に、「子どもを守るネットワーク」「育成協」「育成会」（香月さん、宮崎さん、角野さん）や地域の方々から製作いただいた「門松」は、子供たちにとって平穏な日々が続くようにという願いが込められています。私も一年 365 日、欠かさず「仏壇の前で手を合わせ」、愛宕小学校の子供全員の安全を願っています。無事で健康が一番だと、年始にあたり感じています。



## 1 月といえば「睦月」

一月といえば「睦月（むつき）」という別称があります。お正月に家族や親戚が集まり、睦会う（むつみあう：互いに仲良くする）ことから「睦月」になった説が有力だそうです。人の生活の基本となる家族が睦会って毎日を送ることで、子供は安心して学校生活も送っていただけると思います。学校でも睦会う関係を作っていきます。

## 始業式の校長講話

柱を 2 つで話を構成しました。

1 「変えられないのは『過去と他人』、変えられるのは『未来と自分』」

- 人が成長を続けていくためには、意識するかどうかは別にして、変わっています。
- 今までも、これからも、どんどん成長をしていく子供たちの将来を考えたときに、自分で意識して変わっていった方が、人生が充実していくことは間違いありません。
- 未来の姿を思い描きながら、よりよく変わっていく子供たちの姿を見たいと思います。

2 「1」に関連して、『目的（こうなりたい）』をはっきりさせ、細かく『目標』を定めて毎日を送ってほしいと願いました。

- 『目標』は、できるだけ「いつまでに、これを達成する」を明確にして、毎日を送ることが大切です。
- アメリカの大リーグで成功している大谷選手が「目的と目標」で生活を送っていたことが有名になりました。

（高校卒業までに、160 km のスピードでボールを投げて、手首の可動域をここまで広げる等々）

最後に、いつもの話を付け加えました。

「一番大切なものは『命』です。お家の方に心配をかけないように、他人に迷惑にならないように生活していきましょう。」